平成２９年３月３日　No.５２

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒252-0239 相模原市中央区中央３丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.sagamihara-kng.ed.jp

平成２８年度　教育実践研究論文表彰式

平成２９年１月２０日（金）、相模原市立総合学習センター大会議室にて、平成２８年度教育実践研究論文表彰式を行いました。本年度は２０本の応募があり、厳正な審査の結果、次の方々が入賞されました。入賞した論文は、総合学習センターホームページに掲載します。

また、受賞された方には、平成２９年８月２２日（火）に開催される「教育研究発表会」において、実践・研究成果を発表していただく予定です。

【教育長賞受賞の喜びの言葉を述べる
陽光園　発達障害支援センター山口さん】

入賞	氏名	所属	テーマ
教育長賞	武部　正明 渡辺　智興 志村　淳子 宇田川　真美 山口　正人	陽光園 発達障害 支援 センター	相模原市発達障害支援センターにおける 「学齢児グループ」の実践及び教育との連携 ～「生活スキル」と「仲間づきあい」を軸とした 成人期を見据えた支援プログラム～
優秀賞	板垣　賢司	相原 小学校	自ら課題を見つけ、主体的に取り組む児童を育てる ～ハードル走における課題解決を目指して～
優秀賞	西岡　裕太	南大野 小学校	放送委員会活動「弥栄光ニュース」を通して児童の主体性を育てる ～学校と地域の心を豊かにするテレビ放送～
奨励賞	瀬間　祐紀	小山 小学校	主体的に学習に取り組む態度の育成 ～一人ひとりが学びを追究する「自由研究」の実践から～
奨励賞	髙野　朝枝	根小屋 小学校	地域に根ざした魅力ある学校づくり ～支えの中で、育ち、学び、成長する～
奨励賞	竹内　玲菜	相武台 小学校	夢を越えて生き方を考える ～「総合的な学習の時間」を中心とした小学校でのキャリア教育の取り組み～
奨励賞	林　哲朗	相武台 小学校	初任教員への適切なサポートとは何か ～同僚としてのサポート実践と対話リフレクション結果の両面から検討する～

市民大学・総合学習センターコース

相模原の地理・地図・地名

ー相模原の近現代ー

１１月より全３回コースで開催しました。講師は、昨年に引き続き、桜美林大学の浜田弘明教授です。今回は地図や地形図から相模原地域の歴史や地名、土地利用・景観の移り変わりについてお話していただきました。講座中に、受講生が色鉛筆で地図を塗り分けて、学んだ知識を視覚的に捉えることができるような取り組みもあり、より講義への理解が深まったようです。来年度も市民大学では多彩なコースを開催できるよう準備を進めています。ぜひ、ご期待ください。

市民講座　学びのらいぶ塾

春講座受講者募集！

募集期間　平成29年3月15日(水)～3月28日(火)

＜実　施　講　座＞

A　『史記』を楽しく読む
B　絵手紙に俳句を添えて
C　心がつくる豊かな人生
D　ハーバルライフ入門
E　釈迦を学ぶ
F　偉人に学ぶ生き方
G　知っ得、生き活き術
H　初歩の心理学研究実験
I　俳句で脳活！
J　イノベーションを学ぶ

※詳細は、総合学習センター窓口、公民館、図書館にある募集案内をご覧いただき、直接又はＦＡＸ、葉書にてご応募ください。ホームページからも申し込めます。
※保育はございません。
■学びのらいぶ塾とは、市民が主体となって作り上げ、運営も講師も市民自らが行う講座です。

学社連携・協働の動き ＜学校と地域の協働推進コーディネーターによる各校の取り組み＞

＜共学体験＞　鵜野森中学校
コーディネーター　瀬川順子さん

鵜野森中学校では、７２名の地域の方が講師になりテニスやバトミントン等のスポーツ、囲碁や料理教室、アクセサリーづくりから炊き出し体験まで、様々な分野で２３講座を開催しました。中学生、保護者、地域の方々が希望の講座に参加し、共通の体験をすることでお互いの理解を深めることができました。

＜落ち葉掃き＞　共和小学校
コーディネーター　中村憲子さん

学校の課題の一つであった校庭の落ち葉の片付け。地域のお店に声をかけたところ、９名のコーヒー店のスタッフの皆さんが駆けつけ、歩道の落ち葉の片付けに協力しました。きれいになった校門で、登校する子どもたちを笑顔で迎えました。

＜神社の歴史を知る＞　青野原小学校
コーディネーター　井上和俊さん

地域にある諏訪神社へ出かけ、お祭りは収穫への感謝の気持ちをもって拝むことから始まったこと等講師から話を聞きました。古い社を見たり、質問に答えていただいたり、神社を身近に感じることができました。

＜相模湖・ダム建設の歴史を知る＞　北相中学校
コーディネーター　小林幸治さん

平和教育の一環として「ダムの歴史を記録する会」の方が講師になり、１年生２３名がスライドを見ながら戦争中、相模湖やダムが作られた頃の話を聞きました。その後、３つのグループに分かれて、慰霊碑やダムを実際に見学し、地域の歴史に触れることができました。

プログラミング的思考の育成のために
～　市立小・中学校でのプログラミング授業実践　～

１月と２月、市立小・中学校でのプログラミング教育の実践に総合学習センター学習情報班が協力しました。

プログラミング教育とは、プログラムの仕組みを調べたり、つくったりすることを通して、物事の段取りを論理的に考える力を育てることです。平成３２年より全面実施される次期学習指導要領では小学校でも必修となります。

旭小学校では、第４学年の国語の単元「研究レポートをかこう！」の中で、ブロック型のプログラミング教材を用い、世の中のプログラムが使われたものをつくる体験から気付いたことを文章に表す授業に取り組みました。

緑が丘中学校では、第２学年の技術の題材「パネルをタッチ！計測・制御の技術で問題解決！」の中で、タッチパネル式自動販売機のプログラムを制作しました。タブレットとブロック型のプログラミング教材を組み合わせたモデルで試行しながら、社会にある自動化された技術の活用の仕方について考えました。

相模原市の子どもたちが充実したプログラミングの授業を行えるよう、今後も支援を継続していきたいと考えています。

旭小学校の授業の様子

緑が丘中学校の授業の様子

校内のセキュリティを調べます
～　情報セキュリティ監査　～

総合学習センターでは、教職員のセキュリティ意識、学校全体のセキュリティ対策レベルの向上を図るため、平成２３年度より「情報セキュリティ監査」を実施しています。本年度は、小・中学校１８校に、事前監査、本監査を実施し、そのうち３校で実地監査を行いました。

実地監査では児童生徒の個人情報が含まれるデータ及び紙媒体の保管状況調査をし、その状況を基に、学校全体のセキュリティ対策について協議を行いました。

本年度まで学校が監査を受けるのは６年に一度でした。しかし、今後ますます学校の情報セキュリティが注目されることから、来年度からはより短いスパンで各校の監査が行われるよう、制度を見直していく予定です。

職員室の机上には物を置いたままにしないようにしています。

ネットパトロールだより

http://www.sagamihara-kng.ed.jp/newpage4-8.htm

総合学習センターでは、インターネットや情報機器等に関する最新の情報、諸問題などについてのお知らせ「ネットパトロールだより」を毎月発行しています。

最近、自撮りの画像がインターネット上で拡散することが社会問題になっています。第８１号では、自身の情報がインターネット上に残ることがないか確認できるよう「デジタルタトゥー危険度チェック」を掲載しています。

ぜひ、ネットパトロールだよりをご活用ください。

インターネットに関する様々な取り組みを紹介していきます。情報の提供をお待ちしています。

ネットパトロールだより81号

デジタルタトゥーという言葉を知っていますか？

さがみはらの未来をひらく教育考房（こうぼう）

さがみ風っ子教師塾

第８期まもなく終了！

チャレンジコース（教員志望者）

昨年10月にスタートしたチャレンジコースは、3月18日（第16回）が本年度の最終回となります。

第1ステージでは「めざす教師像とは」、第2ステージでは「子どもを理解するために」、第3ステージでは「よりよい授業をもとめて」、第4ステージでは「社会人としての教師」をテーマに、講義や協議、体験活動、演習等を通して学んできました。

同じ志をもった仲間との6か月間。そこには「相模原の教師になりたい」という強い意志と、仲間との絆があったからこそ、多くのことを学び、継続できたのだと思います。この思いをいつまでも忘れず、相模原市の教師となり、多くの子どもたちとたくさんの夢と感動を語り合ってくれることを願っています。

★★塾生の感想★★

相模原の子どもたちについて理解を深める中で、子どもと向き合うためには中途半端な気持ちでは駄目で、本気でぶつかってこそ、子どもから本気の反応が返ってくるのだと強く感じました。

教師への夢と情熱を相模原で！
さがみはら教育の魅力を継承する
高い志をもつ人材の養成

スキルアップコース（現職教員）

現職教員を対象にしたスキルアップコースは、自ら「学びたい」「高めたい」と志願した先生方が集まり、学びを進めてきました。前期（8月）は「アートラボはしもとの見学」「博物館の夜間見学」「ノジマ相模原ライズとの交流」など、普段、経験できないことに触れ、様々な人と出会い、相模原の教育や学校を外側から見つめる機会となりました。後期（10月～3月）は「子どもの心に火をつける授業づくり」を考える第一歩として、自己の長所を知るための自己分析をしました。次に、ICTや思考ツールを活用しながら、目標を設定し、具体的な取り組みの手だてを協議しました。今後は、実践したことを分析しながら、さらなる具体的な手だてを探っていきたいと考えています。

★★塾生の感想★★

JAXAがあり、はやぶさ給食などを実施している相模原だからこそ宇宙に興味をもたせる教育活動を積極的に行いたいと思います。

そのためにも、学びを深めたいと考えました。

わくわく、どきどき！これぞ相模原の教育
何事にも前向きに取り組み、
誰からも信頼される人材の育成

教育研究員研究

本市の教育の向上を図るため、組織的・計画的な調査研究を行っています。

Goal

平成２７・２８年度にわたり取り組んできた２つの研究が、この３月で終了します。８月の教育研究発表会で提案発表します。

◎算数・数学に関わる研究
～関心・意欲・態度を育む算数・数学教育の在り方～

算数・数学において育成する関心・意欲・態度を定義し、小・中系統的に育む教育の在り方について研究を進めました。その育成に必要な学習指導のあり方について提案していきます。

◎図書館を活用した教育の充実に関わる研究
～学校図書館を活用した授業づくり～

学校図書館の一層の充実と活性化を図ることを目的として、学校図書館の活用とその効果について研究を進めました。学校図書館の有効な活用方法や授業実践例を提案していきます。

Start

平成２８・２９年度の３つの研究

◎考え、議論する特別の教科道徳のあり方にかかわる研究

「考え、議論する道徳」への転換に向けて、特別の教科道徳における学習指導法や評価について研究を進めています。

◎子どもの体力の向上に向けた指導のあり方にかかわる研究

総合的に調和のとれた体力の向上を図ることを目的として、体育科の学習指導のあり方について研究を進めています。

◎タブレットＰＣを効果的に活用する授業づくりにかかわる研究

深い学びを実現するためのタブレットＰＣ活用の視点について、研究を進めています。